

# 平成19年度 財政公表

## 一般会計ってなに？

一般会計は本市予算の中心となるもので、民生費・土木費・教育費・衛生費など、行政を運営するための基本となる諸経費を主なものとした会計です。

収入		
内訳	収入済額	収入率(%)
市税 ※図1	635億3,604万円	97.7
国庫支出金	89億3,035万円	73.5
諸収入	37億4,169万円	92.0
地方消費税交付金	36億9,969万円	96.6
県支出金	29億2,246万円	56.8
使用料及び手数料	27億5,617万円	92.3
分担金及び負担金	17億995万円	90.6
その他(市債※図2など)	75億812万円	39.7
<b>予算額</b>	<b>1,139億9,989万円</b>	
<b>収入済額</b>	<b>948億447万円</b>	<b>収入率 83.2%</b>

市には市民税や固定資産税など皆さんから納めていただく市税をはじめ、国や県から交付される国庫支出金、県支出金など、さまざまな収入があります。市税は、税制改正などにより増加していますが、近年の国庫支出金、地方交付税の見直しなどにより、市の収入については厳しい状況が続いています。

**国庫支出金** 国から市が行う事業への負担金や補助金などとして交付されます。

**収入率** 予算額に対して平成20年3月31日現在で収入済となった割合です。5月31日までは出納整理の収入がありますので決算とは異なります。

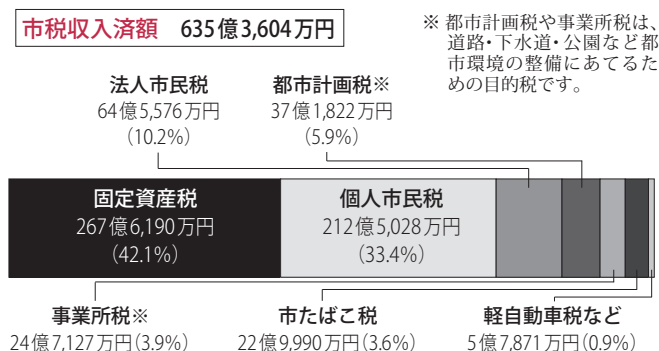
支出		
内訳	支出済額	支出率(%)
民生費	252億9,163万円	78.3
土木費	165億1,465万円	67.9
公債費 ※図2	121億288万円	99.8
教育費	99億9,662万円	78.8
衛生費	98億5,824万円	83.9
総務費	74億5,622万円	72.0
消防費	36億28万円	95.0
その他(商工費など)	58億6,223万円	87.6
<b>予算額</b>	<b>1,139億9,989万円</b>	
<b>支出済額</b>	<b>906億8,275万円</b>	<b>支出率 79.5%</b>

市民サービスの向上のため、目的別にさまざまな経費として支出しています。主な内容は次のとおりです。

**民生費** 児童福祉・高齢者福祉など  
**土木費** 道路・公園の整備など  
**公債費** 市の借り入れたお金の返済金(元金と利子)  
**教育費** 学校の整備、生涯学習の推進など  
**衛生費** 保健事業・環境対策など  
**総務費** 戸籍、国際交流事業など  
**消防費** 消防、救助、救急活動など  
**その他** 商工費・農林水産業費など

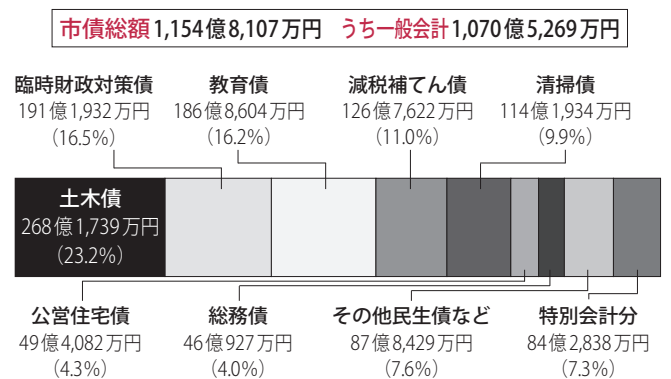
**支出率** 予算額に対して平成20年3月31日現在で支出済となった割合です。5月31日までは出納整理の支出がありますので決算とは異なります。

■図1 市税収入の状況(H20.3.31現在)



平成20年3月31日現在の市税収入は、635億3,604万円で、一般会計の6割以上を占めており、最も大切な財源となっています。平成19年度においては、固定資産税は家屋の新增築の増加により、個人市民税は定率減税の廃止、税源移譲に伴う税率の見直しにより、全体として増加傾向にあります。

■図2 市債の状況(H20.3.31現在高)※企業会計を除く



市債は、将来にわたり皆さんが利用する道路や公園、学校などを整備するときに市が国などから借り入れるお金のことで、返済は公債費として長期間にわたって行うこととなりますので、市では将来の財政負担が大きくなるように慎重に事業を選択し、計画的な借入れを行っています。

市では市政への理解を深めていただくため、「豊橋市財政状況の公表に関する条例」に基づき、年2回財政状況を公表しています。今回は平成19年度予算の執行状況などを、一般会計・特別会計・企業会計に分けてお知らせします。  
※数値などは平成20年3月31日現在のもので、決算とは異なります。

問合せ 財政課  
☎51・2117 ☎55・6385  
✉ zaisei@city.toyohashi.lg.jp

## 特別会計ってなに？

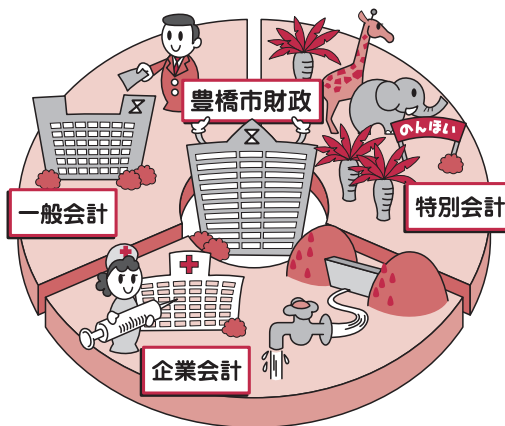
特別会計とは使用料など特定の収入で特定の事業を運営する会計のことで、一般会計と区別して収支経理を行っています。

会計名	予算額	収入済額	収入率(%)	支出済額	支出率(%)
競輪事業	145億 481万円	146億8,208万円	101.2	137億 436万円	94.5
国民健康保険事業	333億1,523万円	282億9,141万円	84.9	305億3,713万円	91.7
総合動植物公園事業	15億3,700万円	3億 175万円	19.6	14億5,084万円	94.4
公共駐車場事業	2億8,000万円	2億8,548万円	102.0	2億4,698万円	88.2
地域下水道事業	10億9,900万円	3億7,080万円	33.7	9億1,177万円	83.0
老人保健	255億4,974万円	204億 468万円	79.9	234億3,450万円	91.7
母子寡婦福祉資金貸付事業	3,500万円	4,513万円	128.9	2,751万円	78.6
介護保険	161億5,269万円	124億4,883万円	77.1	139億5,649万円	86.4
合計	924億7,347万円	768億3,016万円	83.1	842億6,958万円	91.1

本市には8つの特別会計があり、市予算額の約4割を占めています。  
なお、総合動植物公園事業や地域下水道事業では、一般会計からの繰入金などを5月末に収入することから、この時点での収入率が低くなっています。

### 各特別会計の主な収入・支出 (収入 収 支出 支)

- 競輪事業 収 勝者投票券売上金 支 勝者投票券払戻金、選手賞金
- 国民健康保険事業 収 国民健康保険税、国庫支出金 支 療養給付費
- 総合動植物公園事業 収 入園料、遊具使用料、一般会計繰入金 支 施設管理委託料、公債費
- 公共駐車場事業 収 駐車場使用料 支 施設管理委託料、公債費
- 地域下水道事業 収 下水道使用料 支 施設の管理費、建設費
- 老人保健 収 支払基金交付金、国庫支出金 支 医療給付費
- 母子寡婦福祉資金貸付事業 収 貸付金元利収入 支 貸付金
- 介護保険 収 介護保険料、国庫支出金 支 介護保険給付費



## これが豊橋市の財産です (H20.3.31 現在)

土地増加分(0.6%増)は主に最終処分場用地購入によるもので、建物増加分(1.7%増)は主に吉田方中学校の移転新築やこども未来館新設によるものです。

※ ( ) は前年比



土地  
8,052,548㎡  
(0.6%増)

建物  
1,181,322㎡  
(1.7%増)



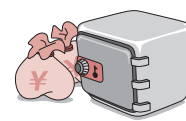
有価証券(株券)  
22億7,023万円  
(2.3%増)

債権(貸付金など)  
31億6,489万円  
(21.3%増)



出資金・出捐金  
16億4,731万円  
(0.01%減)

主なもの  
豊橋ステーションビル、豊川水源基金、  
豊橋市国際交流協会など



基金  
171億1,992万円  
(4.9%増)

主なもの  
財政調整基金、大規模事業推進基金、  
河原福祉基金など

## 企業会計ってなに？

企業会計とは独立採算制を原則とする会計で、水道料金や下水道使用料、診療収入などにより運営しています。ここでは予算の執行状況と貸借対照表、損益計算書により各企業の財政状況などを紹介します。

### 水道事業

給水人口 38万1,295人  
給水戸数 15万4,747戸  
普及率 99.31% (増減なし)

### 下水道事業

排水人口 26万9,108人  
排水面積 4,210ヘクタール  
普及率 70.09% (0.62ポイント増)

### 病院事業

入院患者数 延べ28万2,496人  
外来患者数 延べ55万8,321人  
(入院2.34%減、外来3.43%減)

※( )は前年比

#### ■予算の執行状況

企業会計は、収益的収支と資本的収支で成り立っています。なお、資本的収入が資本的支出に対し不足する場合は、内部留保資金を補てん財源として補てんします。

##### <収益的収支>

企業の経営活動に伴い発生する収入(収益)とそれに対応する支出(費用)です。

##### 収入の主なもの

水道料金、下水道使用料、診療収入

##### 支出の主なもの

職員人件費、施設の維持管理費、支払利息、固定資産の減価償却費

##### <資本的収支>

施設や設備の整備拡充・改良を行うための収入および支出です。

##### 収入の主なもの

企業債、一般会計出資金、負担金

##### 支出の主なもの

資産の取得費、企業債の元金償還金

(消費税込み)

会計名	区分	予算額	執行額
水道事業	収益的	収入 63億1,300万 円	62億3,707万6,406円
		支出 62億2,600万 円	59億8,480万6,407円
	資本的	収入 11億6,100万 円	7億4,533万3,978円
下水道事業	収益的	収入 68億7,900万 円	68億6,649万9,672円
		支出 66億9,300万 円	65億3,482万8,521円
	資本的	収入 56億3,500万 円	53億1,597万5,000円
病院事業	収益的	収入 214億2,699万2千円	211億7,046万6,065円
		支出 222億6,480万8千円	217億5,616万7,725円
	資本的	収入 12億2,886万3千円	12億2,841万5,589円
	補てん財源	支出 16億3,900万 円	16億3,652万5,286円
	補てん財源	支出 4億1,013万7千円	4億810万9,697円

(消費税抜き)

#### ■貸借対照表 (H20.3.31 現在)

貸借対照表とは、企業が保有する全資産・負債・資本を記載し、それらの状況を示すことにより企業の財政状態を明らかにするものです。

##### 固定資産の主なもの

土地、建物、機械、車両

##### 流動資産の主なもの

現金預金、未収金、有価証券

##### 負債の主なもの

未払金、預り金

##### 資本の主なもの

自己資本金、借入資本金、剰余金

会計名	資産の部	負債・資本の部
水道事業	固定 378億8,191万2,819円	負債 12億2,198万2,768円
	流動 38億3,920万7,379円	資本 404億9,913万7,430円
	計 417億2,112万198円	計 417億2,112万198円
下水道事業	固定 1,380億9,457万8,085円	負債 26億2,515万3,269円
	流動 44億743万748円	資本 1,398億7,685万5,564円
	計 1,425億200万8,833円	計 1,425億200万8,833円
病院事業	固定 301億8,145万3,030円	負債 19億6,378万242円
	流動 53億7,134万4,223円	資本 339億8,124万7,942円
	繰延勘定 3億9,223万931円	
	計 359億4,502万8,184円	計 359億4,502万8,184円

(消費税抜き)

#### ■損益計算書 (H19.4.1 ~ 20.3.31)

損益計算書とは、一年度中に得たすべての収益とこれに対応するすべての費用を記載し、その差額(純損益)を表示することで企業の経営成績を明らかにするものです。この計算書を見れば、当該年度にどれだけの利益が生じたのか、また、どれだけの損失が生じたか分かります。

会計名	営業(医業)	営業外(医業外)
水道事業	収益 58億9,908万4,615円	収益 4,540万9,438円
	費用 53億9,978万910円	費用 3億5,290万5,582円
	1億9,180万7,561円	差引 -3億749万6,144円
下水道事業	収益 54億3,094万1,225円	収益 12億3,971万8,010円
	費用 46億371万6,779円	費用 18億2,571万1,901円
	2億4,123万555円	差引 -5億8,599万3,891円
病院事業	収益 196億7,923万1,793円	収益 14億4,748万421円
	費用 205億1,525万7,826円	費用 11億9,850万5,556円
	5億8,705万1,168円	差引 -2億4,897万4,865円